

市民の視点 に立った議員活動も16年になります。

野村羊子は無所属・市民派として個人や弱い立場の人々に寄り添い、市民の声を市政に反映させています。また、市政の具体的な情報をわかりやすく市民に届けています。
最近では天文台周辺まちづくりについて住民アンケートを実施し、市民の声を取り入れるよう具体的に働きかけています。

今の三鷹市にはこのような課題があります。

人権条例

三鷹市は当事者の参画なしに条例制定を進めようとしています。

学童保育

待機児童がいて常に定員オーバーの状態です。また職員の休憩室がありません。

ケアワーク

保育や介護のケアワーカーが大切にされていない状態の中で、ケアが必要な人のニーズが満たされていません。

「新都市再生ヴィジョン」

駅前再開発はていねいに進めることが大事ですが、同時に、老朽化した小中学校建替を早く進める必要があります。

東京外環道

調布の陥没事故と同じような事故が三鷹の住宅街でも起きる可能性があります。シールドマシーンでのトンネル工事が三鷹の「中央ジャンクション」で今も続いています。住民から振動や騒音の悩み、事故の不安の声が届いています。

三鷹市はあなたの暮らしに寄り添っていますか？
市の予算をどこに、どの順番で誰のために使っていくのが
市民のためになるのでしょうか。
あなたの声を聞かせてください。

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-33-7-401
[TEL/FAX] 0422-72-2425 [E-mail] issyonokai@nomura-yoko.net
[URL] nomura-yoko.net [Twitter] hitujinomuraを検索
郵便振替口座 00160-2-335606
加入者名「野村羊子といっしょにつくる三鷹の会」



だ
い
じ
ょう
ぶ
、
と
も
に
あ
る
こ
う
。

だ
れ
も
が
大
切
に
さ
れ
る
三
鷹
へ

主役は市民



三鷹市議会議員 無所属・市民派 四期

野村 羊子

のむら
ようこ

と いっしょにつくる三鷹の会ニュース

野村羊子プロフィール

1957年生まれ。北海道札幌市で育つ。明治学院大学卒業後、福祉施設に7年間勤務し、自閉症児と共に暮らす。
1988年：絵本と木のおもちゃの店「ブーの森」を吉祥寺に開店。
1993年：三鷹市下連雀に移転し、以降30年三鷹に暮らす。
2007年：三鷹市議会議員となり、現在4期目。

しつこい！
細かい！
あきらめない！
きっちり調べてる！

市民が
信頼できる
議員



主役は市民

2007年初当選!

議会で質問提案

市民が
信頼できる
議員

しつこい!
細かい!

あきらめない!
きっちり調べてる!

●市民の生活改善をするためには、
私たちの視点から声をあげられる
議員が必要!

たよりになる
野村羊子を出そう!

市政...

三鷹市の課題

学童保育

ケアワーク

東京外環道

人権条例

再開発

市民の幸せのための
健全な
循環システム

●野村羊子の出発点

私たちのあらゆる市民活動の仲間に
野村羊子がいました。
彼女は耳を傾け、人をつなぎ、エンパワーして
いっしょに活動できる人です。

三鷹の最大の問題は、予算(市民の税金)の使い方と決定プロセスです。

もっと安定したサービスの提供のために、市民の声を反映させて、
施設運営費や人件費に予算を使い、地域で循環させていくシステムが必要です。



詳しくはサイトを!